

神奈川県立花と緑のふれあいセンター（仮称）特定事業
落札提案の概要（グリーンアンドアーツグループ）

1 事業者の概要

代表企業	(株)グリーンアンドアーツ
構成企業	(株)グリーンダイナミクス、(株)栗生総合計画事務所、五栄土木(株)、(株)ヘッズ、(株)NHKアート、京成バラ園芸(株)、(株)イクスピアリ、(株)舞浜ビルメンテナンス
協力企業	(株)サカタのタネ

2 落札金額（県の支払額、消費税別） 53億4363万84円

3 事業全体に係る提案

(1) 取組方針

新しい生き方を創造する「いのちの庭の創生」を基本コンセプトに、「園芸」と「農業」を楽しみながら学ぶことができるホスピタリティ豊かな施設を創る。

(2) 開業日

平成22年3月1日

(3) 需要推計

平均年間入園者数 約32.6万人

最高年間入園者数 約34.1万人

最低年間入園者数 約30.7万人

(4) 開園時間

3月1日から10月31日まで 9時から17時まで

11月1日から2月末日まで 9時から16時まで

ただし、イベント、夏休み、クリスマス期間は、9時から19時まで

(5) 休園日

12月31日から1月4日並びに1月及び2月の間で、10日以内

(6) 利用料金

ア 入園料金

20歳～64歳 500円

65歳以上・学生・高校生・20歳未満 300円

小中学生 200円

年間パスポート 2,000円

イ 駐車場利用料金

普通車 480円/日

大型車 1,500円/日

(7) 県内資源の活用

- ・県産木材をメイン棟の構造材、園内のベンチ等に活用する。
- ・工事実施・維持管理や種苗、植木の調達等に県内業者を活用する。

4 施設に関する提案（別図のとおり）

- (1) 施設の場所 平塚市寺田縄496-1ほか
 (2) 敷地面積 約9.3ha
 (3) 主な施設の内容・規模

フラワーゾーン	約5.3ha	<ul style="list-style-type: none"> バラ（650品種）コリ（100品種）サルズベリ（100品種）などを中心的なコレクションとして3,250品種を植栽し、一年を通じて開花リレーを行う。 日本初のバラの品種改良の歴史展示園のほか、リコリス（彼岸花等）やマグノリア（モクレン）の日本一の品種コレクションを目指す。 チェコ出身の「カレル・チャペック」の家と庭を再現し、園芸に関するキャラクター化を進める。
アグリゾーン （水田、畑、果樹園、温室）	約1.7ha	<ul style="list-style-type: none"> 子どもサイズでできた家、田、畑で囲まれた農の体験村「キッズビレッジ」を作り、大人も子どもも楽しみながら農業に関する知識や技術を総合的に体験できる場を整備する。
メイン棟	約2,400㎡	<ul style="list-style-type: none"> 花きの展示スペース、気づき体験スペース、講義スペース、実習スペース、調理スペース、情報提供スペース、会議室、レストラン、売店等

5 運営に関する提案

(1) 運営方針

- 観賞する楽しみだけでなく、園内に植栽された花や緑、農作物を活用した様々な楽しみ方や暮らし方を提案する運営を行う。

(2) 各事業の提案

- 気づき体験事業として、次代を担う子どもたちが農業を通じていのちの尊さと知恵を感じ、理解する「体験・学習・交歓」づくりのプログラムを整備する。
- 花の開花プログラムや収穫スケジュール、展示会の開催等と連携した園芸教室・農業講座を開催する。NHK「趣味の園芸」講師による講座を開催し、「かながわマスターガーデナー」認定制度も設立する。
- 季節ごとに、花のフェスティバル、まつりフェスタ、実りの文化祭などの集客力の高い魅力的なイベントを開催する。
- 地域花壇や公募によるコンテストガーデンを設置し、県民参加を促す。
- 周辺の「農の体験・交流の場」（仮称）と一体となった「収穫祭」の開催など、周辺との連携を図る。
- レストランは「ガーデナーズ ナチュラル カフェテリア」、売店は「ガーデナーズ ライフデザイン スタジオ」とし、営業時間を閉園後2時間まで延長して積極的なサービスを行う。
- 県民参加によるクラブ組織「かながわガーデナーズクラブ」を設置する。
- 神奈川県内では初となる「園芸福祉講座（初級園芸福祉士養成講座）」を開設する。
- 開園5・10・15周年に施設の更新とイベント事業を組み合わせ、リニューアルオープンイベントを企画し、施設の魅力を維持する。